

大津市民会館・大津公民館指定管理者選定の方式及び基準

1. 審査評価方法

審査項目については、3つの大項目を設け、各審査小項目について配点されている点数を上限として、項目ごとに0点から満点までの1点刻みで採点を行う。

順位の決定は、総合点数方式によって行うものとし、各委員の採点の総計が高い順に第1位から順位を決定する。なお、総計が同点であった場合は、第1位とした委員が多い団体を上位とする。なお、第1位とした委員が同数の場合には、委員長が上位とした団体を第1位とする。

ただし、全委員の審査大項目の採点の総計並びに総合計が、最低基準点に達していないものがあれば、順位は付さない（1者のみの場合も同様）。最低基準点は審査大項目、総合計ともに60%とする。

また、全委員の「合計」の平均点と比較し、150%以上又は50%以下の得点を付した委員の採点は他の団体の採点も含め除外するものとする。この場合における最低水準点は、乖離値を付した委員を除いた委員数に合わせて補正する。

審査項目	配点
(ア) 安定的な運営	40点
a 管理の基本方針について	5点
b 日常時の安全管理について	4点
c リスク管理について	3点
d 緊急時の体制について	4点
e 文書の管理・保管について	3点
f 個人情報の保護について	3点
g 情報公開の推進について	3点
h 類似施設の管理運営実績について	4点
i 人員配置について	4点
j 職員の資質の向上について	3点
k 財務状況について	4点
(イ) サービスの向上	40点
a サービス向上策について	6点
b 利用促進の方策について	6点
c 利用者の声の反映について	6点
d 自主事業計画について	7点
e 社会貢献への取組について	3点
f 効果的な指定自主事業の実施について	6点
g 生涯学習専門員等に対するサポート等について	3点
h 各種団体等の活動成果が活かせる拠点となる取り組みについて	3点
(ウ) 経費の縮減	20点
a 委託料について	6点
b 維持管理経費の縮減策について	8点
c 効果的な運用による増収策について	6点

2. 審査のポイント

(ア) 安定的な運営

a 管理の基本方針について

施設の設置条例及び募集要項との整合性が保たれている。

満点／施設の設置目的及び管理運営に関する基本的な考え方に十分な理解がある。

0点／施設の設置目的及び管理運営に関する基本的な考え方を理解していない。

b 日常時の安全管理について

日常時における安全管理が徹底されており、利用者が安心して利用できる。

満点／安全管理マニュアルなどを作成しており、その対策が適切である。

0点／安全管理対策が不十分である。

c リスク管理について

事前に想定されるリスクを把握し、そのリスクに備えた安定した管理ができる。

満点／事前に想定されるリスクを把握し、そのリスクへの対策が適切である。

0点／リスクへの対策が不十分である。

d 緊急時の体制について

緊急時の体制が明確であり、危機管理意識が高い。

満点／緊急時対応マニュアル等を作成しており、その対策が適切である。

0点／緊急時対応策が不十分である。

e 文書の管理・保管について

文書の管理・保管が適正になされている。

満点／文書の登録管理がなされ、適正な場所に保管されている。

0点／文書の保管・管理が不十分である。

f 個人情報の保護について

個人情報の保護が徹底されており、利用者が安心して利用できる。

満点／個人情報保護規程を作成しており、その対策が適切である。

0点／個人情報保護策が不十分である。

g 情報公開の推進について

情報公開を適正に行える。

満点／情報公開を適正に行える体制が整備されている。

0点／情報公開の推進が不十分である。

h 類似施設の管理運営実績について

経験と実績を備えており、安定した管理ができる。

満点／類似施設の管理運営に十分な経験と実績を備えている。

0点／類似施設の管理運営に経験と実績がない。

i 人員配置について

人材配置が的確で責任の所在が明確であり、安定した管理ができる。

満点／役割分担が明確であり、円滑な業務遂行が見込める。

0点／／役割分担が不明確であり、業務遂行に支障をきたすおそれがある。

j 職員の資質の向上について

職員の資質の向上が図られており、質の高いサービスを提供できる。

満点／人材育成の方針が明確であり、研修計画が適切である。

0点／人材育成の方針が不明確であり、研修計画が不適切である。

k 財務状況について

指定期間が複数年にわたることから、申請者の財務状況が良好であることが必要である。

満点／財務状況が良好である。

0点／財務状況に課題が多い。

(イ) サービスの向上

a サービス向上策について

新規サービスの提供又は既存サービスの手法改善によって、サービスの質が向上できる。

満点／サービスの質の向上が期待できる。

0点／サービスの質が低下するおそれがある。

b 利用促進の方策について

新規手法の導入又は既存の手法の改善によって、利用率が向上できる。

満点／利用促進に積極的な姿勢があり、効果が期待できる。

0点／利用促進が期待しにくい。

c 利用者の声の反映について

利用者の声を反映するシステムがあり、迅速かつ的確な対応により、利用者満足度が向上できる。

満点／日常的に利用者の声を把握する仕組みがあり、サービス改善に積極的である。

0点／サービス改善に消極的である。

d 自主事業計画について

施設の設置目的との整合性が保たれており、施設の効用を最大限に発揮できる。

満点／自主事業の実施方針が明確であり、事業内容が適切である。

0点／自主事業の実施方針が不明確であり、事業内容が不適切である。

e 社会貢献への取組について

社会的貢献への取組（※地域貢献活動、障害者の積極的な雇用、障害者に対する合理的配慮の取組、地域経済活性化の取組、女性の活躍推進、ユニバーサルデザイン・バリアフリーへの配慮の取組）を行える。

満点／社会的貢献への取組に積極的な姿勢であり、社会的貢献が期待できる。

0点／社会的貢献への取組に対して消極的であり、社会的貢献が期待しにくい。

f 効果的な指定自主事業の実施について

○大津市民会館（回遊型コラボレーション事業、びわ湖大津舞台芸術祭、大津市民教養大学、市民体験型事業）

○大津公民館（「大津公民館運営方針」に示す条件のもとで実施する指定自主事業）申請者の持つ能力やノウハウを活用し、開催要項に沿って効果的に指定自主事業を実施できる。

満点／指定自主事業の実施方針が明確であり、事業内容が適切である。

0点／指定自主事業の実施方針が不明確であり、事業内容が不適切である。

g 生涯学習専門員等に対するサポート等について

「大津公民館運営基本方針」（6）に基づいた内容の提案ができています。（申請者の持つ能力やノウハウ、情報のネットワーク等を活用し、公民館講座等に関する指導、助言、情報提供ができており、大津公民館が軸となった研修会や情報交換できる場の提供が計画的に提案されている。）

満点／大津公民館運営基本方針に基づいた内容の提案ができています。

0点／大津公民館運営基本方針に基づいておらず提案の内容も不明確である。

h 各種団体等の活動成果が活かせる拠点となる取り組みについて

「大津公民館運営基本方針」（7）に基づいた内容の提案ができています。（大津公民館を拠点として、地域と団体が交流しながら情報交換を行い、団体の活動成果が活かせる拠点となる取り組みが提案されている。また、地域の公民館等の活動に対するサポートの提案がされている。）

満点／大津公民館運営基本方針に基づいた内容の提案ができています。

0点／大津公民館運営基本方針に基づいておらず提案の内容も不明確である。

(ウ) 経費の縮減

a 委託料について

(6点／委託料 提示額による加点)

b 維持管理経費の縮減策について

安定的な管理とサービスの質の確保を前提として、経費が縮減できている。また、収支計画が明確である。

満点／収支計画が適切であり、大幅な経費縮減を見込める。

0点／収支計画が不明確であり、経費縮減を見込めない。

c 効果的な運用による増収策について

情報発信や利用促進をとおして増収が見込めるような提案ができている。また、収支計画が明確である。

満点／収支計画が適切であり、大幅な増収を見込める。

0点／収支計画が不明確であり、増収を見込めない。

◆選定基準 （大津市民会館・大津公民館）

- ・最低基準点は審査大項目、総合計ともに60%とする。最低水準点に達していない団体には順位は付さない。

60%

審査項目		配点	評価係数	満点	最低水準点	審査のポイント
(ア) 安定的な運営		40		280	168	
a	管理の基本方針について	5	1	35	—	施設の設置条例及び募集要項との整合性が保たれている。
b	日常時の安全管理について	4	1	28	—	日常時における安全管理が徹底されており、利用者が安心して利用できる。
c	リスク管理について	3	1	21	—	事前に想定されるリスクを把握し、そのリスクに備えた安定した管理ができる。
d	緊急時の体制について	4	1	28	—	緊急時の体制が明確であり、危機管理意識が高い。
e	文書の管理・保管について	3	1	21	—	文書の管理・保管が適正になされている。
f	個人情報の保護について	3	1	21	—	個人情報の保護が徹底されており、利用者が安心して利用できる。
g	情報公開の推進について	3	1	21	—	情報公開を適正に行える。
h	類似施設の管理運営実績について	4	1	28	—	経験と実績を備えており、安定した管理ができる。
i	人員配置について	4	1	28	—	人員配置が的確で責任の所在が明確であり、安定した管理ができる。
j	職員の資質の向上について	3	1	21	—	職員の資質の向上が図られており、質の高いサービスを提供できる。
k	財務状況について	4	1	28	—	指定期間が複数年にわたることから、申請者の財務状況が良好であることが必要である。
(イ) サービスの向上		40		280	168	
a	サービス向上策について	6	1	42	—	新規サービスの提供又は既存サービスの手法改善によって、サービスの質が向上できる。
b	利用促進の方策について	6	1	42	—	新規手法の導入又は既存の手法の改善によって、利用率が向上できる。
c	利用者の声の反映について	6	1	42	—	利用者の声を反映するシステムがあり、迅速かつ確な対応により、利用者満足度が向上できる。
d	自主事業計画について	7	1	49	—	施設の設置目的との整合性が保たれており、施設の効用を最大限に発揮できる。
e	社会的貢献への取組について	3	1	21	—	社会貢献への取組（地域貢献活動、障害者の積極的な雇用、障害者に対する合理的配慮の取組、地域経済活性化の取組、女性の活躍推進、ユニバーサルデザイン・バリアフリーへの配慮の取組）を行える。
f	効果的な指定自主事業の実施について	6	1	42	—	申請者の持つ能力やノウハウを活用し、効果的に指定自主事業を実施できる。
g	生涯学習専門員等に対するサポート等について	3	1	21	—	「大津公民館運営方針」の（6）に基づいた提案ができています。
h	各種団体等の活動成果が活かせる拠点となる取り組みについて	3	1	21	—	「大津公民館運営方針」の（7）に基づいた提案ができています。
(ウ) 経費の縮減		20		140	84	
a	委託料について	6	2	42	—	申請額より配点を行う
b	維持管理経費の縮減策について	8	1	56	—	安定的な管理とサービスの質の確保を前提として、経費が縮減できる。
c	効果的な運用による増収策について	6	1	42	—	効果的な運用によって増収が見込める。
合 計		100		700	420	

大津市民会館委託料：総額190,305,000円（R9～R11）

大津公民館委託料：総額 93,807,000円（R9～R11）